TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

主は王である 上からの知恵
ヤコブの手紙 3:13-18

2022 年 12 月 3 日&4 日
余沢 武 牧師

I. はじめに

こんにちは。来週はすべての礼拝と場所で「聖餐式」を行います。そして先日もお伝えしましたが今年はクリスマスイヴ礼拝を 2 回、クリスマス礼拝を 4 回行います。チラシが後ろに置いてありますのでご家族、ご友人、同僚の方々をぜひお誘い下さい。

また「インパクトビルディングプロジェクト」に関して簡単なアップデートをお伝えします。

1. 新しい建物の必要性に伴い、2019 年 9 月に「インパクトビルディングプロジェクト」は始まりました。2020 年 12 月までに第 1 段階の献金が与えられることを最初の目標としました。しかしコロナ禍やその他諸々の事情により遅延しています。
2. しかし神様を賛美します。それでも皆さんは忠実に捧げ続け、第 1 段階の献金目標の 18.4%まで満たされました。
3. 今週のアウトラインに最初に作ったこのプロジェクトの説明書を入れました。プロジェクトビデオへのリンクもあります。この献金プロジェクトは続きます。このプロジェクトに献金する時にはインパクトビルディングプロジェクトの封筒を使ってください。銀行の口座振込による献金方法は TBC ライフに載っています。

   TBC の次世代のために、また日本の将来の福音宣教のために投資してくださりありがとうございます。お祈りしましょう。

今日はヤコブの手紙の学びを続けます。先週私たちは「制しない舌」について学びました。今日は私達が必要な神様からの「知恵」を学んでいきます。

II. 上からの知恵

(1) 知恵

ヤコブ 3:13 を開きましょう。「あなたがたの中で、知恵があり分別があるのは誰ですか。その人は、知恵に適う柔和な行いを、良い生き方によって示しなさい。」

クリスチャン、特に教える立場にあるに人たちに「舌を制する」ことの大切さを警告した後、ヤコブは本当の「知恵」ついて教え始めます。

ある人が「賢いクリスチャン」かどうか、または「賢い聖書の先生」であるかどうかはどのようにわかるでしょうか。ヤコブは言います。「その人は、知恵に適う柔和な行いを、良い生き方によって示しなさい。」私達の「行い」が「賢い」かどうかを表します。

聖書を教える J.I.パッカーは彼の著書『神について』の中で、英国の電車のシステムの例えを用いて「クリスチャンの知恵」を私達はこのように誤解すると説明しました。

プラットフォームの端に立てば、どのように電車が入り、去っていくのかはわかります。しかし「管制室」に行き、大きな壁にかけられている「表示パネル」を見ればその駅から両側 8km(5 マイル)にある全ての「電車の配置」がわかります。

そこに電車は動いている物も止まっている物も全て光で表示されます。なぜこの電車が止まっており、あちらの電車が動いていて、あそこの電車は傍に止められていなければならないのかが一目でわかるのです。全ての電車の状況が正確に把握出来るからです。

J.I.パッカー氏はこれが「よくある間違い」だと言います。私たちはこれが神からの「知恵」を得ることだと思ってしまいがちです。私たちの人生の中で神様がすること全てを理解する事が知恵だと思ってしまうのです。

J.I.パッカー氏はこう言います。違います。知恵はどちらかというと車を運転するようなものです。「なぜこの道は狭いのか」とか「なぜ車がそこに駐車されているのか」などという事は考えません。ただ目の前の

状況への適切な判断をするだけです。だから「知恵」とは毎日の生活の中の実際の状況に適切に応答する事なのです。

そしてヤコブは言います。「あなたがたの中で知恵がある者」もしくは「あなたがたの中で賢い先生である方」は、「柔和さ」を持ってすべての状況に対応するものだと言うのです。

「柔和」と言う言葉は「謙遜」また「優しい」とも翻訳されます。これは飼い慣らされた「野生の動物」を表現する時にも使うギリシャ語です。乗っている人の指示を言う通りこなす「雄馬」にも使われます。

そうした馬は、走るべき時と減速すべき時をわきまえています。それは持っている力を制御出来ることです。私たちに当てはめるなら、神がどのような方か、また私たちが本当にどれだけ罪深く、価せず、力がないものなのかという認識に基づいて、私たちの行動を神の導きに完全に従わせることです。それが「柔和に」ということです。

「神の知恵」を得ることとは、私たちの毎日の生活の実際の状況の中での柔和に適切に対応すること、私たちの行動を神の導きに完全に従わせることを知っていることです。

(2) この世の知恵

ヤコブはこう続けます。14 節-16 節「しかし、あなたがたが心の内に、苦々しい妬みや利己心を抱いているなら、誇ったり、真理に逆らって嘘をついたりしてはなりません。そのような知恵は、上から降って来たものではなく、地上のもの、自然のもの、悪魔から出たものです。妬みや利己心のあるところには、無秩序とあらゆる悪い行いがあるのです。」

ヤコブは「神からの知恵」を持つことを阻むものが何なのかを説明します。
#1. まず私たちの「苦々しい妬み」です。自分の考えをもっと認めてもらおうと必死になることや、私たちのやることを邪魔する人に腹を立てることです。
#2. 次に私たちの「利己心」です。自分が欲しいものを得ようとして、分裂につながる方法やふさわしくない方法を使ってしまいたくなる所です。

私たちが神の知恵を持つ、つまり自分の行動を神の支配下に完全に従わせることが出来ない理由は、私達が自分のやり方を何が何でも受け入れられたいからだとヤコブは言うのです。

「そのような知恵は、上から降って来たものではなく、地上のもの、自然のもの、悪魔から出たものです。」とヤコブは言います。そのような知恵は「神」にではなく、私たちの「肉の力」に頼るものなのです。そして「無秩序」と「あらゆる悪い行い」を生み出します。

子供がサッカーをしているようなものです。小さな子供達がサッカーをしているのを見たことがありますか。全員がストライカーになりたいのです。全員が得点をする人になりたいのです。ミッドフィルダーもディフェンダーもいません。そのためサッカーグラウンドには秩序がありません。完全に大混乱です。私たちが「苦々しい妬み」や「利己心」を持つとそのようになります。それがこの世の知恵なのです。

しかしそのようにサッカーをしていた子供達も大きくなって本当のサッカーチームに入ると全てが変わります。自分のポジションにいることを覚えるのです。試合に勝つために自分が点を入れなくてもいいのです。コーチから自分がやるように言われていることをすることに集中するだけなのです。

コーチがすべきことを把握していると信じ、一人一人はそれぞれの状況によって与えられるコーチの指示に従うよう集中するだけなのです。それが「上からの知恵」です。

それは神が統べ治めておられ、神が全てをコントロールしておられ、私たちが本当にどれだけ罪深く、価せず、力がないものなのかを知っているので、私たちの行動を神の導きに完全に従わせることです。それが認識出来ないと無秩序と悪い行いの罠にはまってしまうのです。

例えばある日クリスチャンになったばかりの兄弟と横須賀駅でトラクト(福音に関する小冊子)を配ろうと私が計画したとします。トラクトをどう配るのかを教えるためです。横須賀駅で 1 時に待ち合わせをすることにし、その兄弟は配るトラクトを持って来ることになっています。私は 2 時間かかったけれど時間通

りに到着します。でもその兄弟は来ていません。なので電話をしてみます。

彼は寝坊して着くまでにあと 1 時間かかると言うのですが、私は待ちました。そしてやっと 2 時半に兄弟は着ました。そして彼はトラクトを持ってくるのを忘れたことに気付いたのです。私は怒るべきでしょうか。その日私は神に仕える予定で、その兄弟はそれを台無しにしたのです。でも本当にそうなのでしょうか。

このようにして私たちの「知恵」は試されます。覚えていてください。知恵は何が起きているかを全て知っていることではありません。与えられた状況でどのように反応するかを知っていることなのです。

私が自分の達成したいことだけを考えていて、この世の知恵によって動いていたら、私は「苦々しい妬み」や「利己心」に支配されているのです。結果は無秩序とあらゆる悪い行いです。苦々しい思いを持ち、怒り、とげとげしくなります。この新しいクリスチャンにそれがどのように影響するか考えてみてください。

または神が統べ治めておられ、神様が全てをコントロールしておられること、私が本当にどれだけ罪深く、価せず、力がない者なのかを覚えて、予想もしなかった状況に神の言葉に従って反応することが出来るかなのです。

それが上からの知恵です。兄弟のことを優しく赦し、横須賀で兄弟と交わりをして時間を過ごすでしょう。その日私は神に仕えたでしょうか。はい。それが神様が私に神様に仕えてほしい方法だったのです。

(3) 上からの知恵

ヤコブは続けます。17 節-18 節「しかし、上からの知恵は、何よりもまず、清いもので、さらに、平和、公正、従順なものです。また、憐れみと良い実りに満ち、偏見も偽善もありません。義の実は、平和をもたらす人たちによって平和のうちに蒔かれます。」

私たちが「上からの知恵」を行おうとする時、まず「清い」こと、神を第一に求めていなければなりません。そして「平和」で他の人に手を差し伸べ、「公正」で他の人を優先します。「従順」なので他の人に従います。そして「憐れみと良い実りに満ち、偏見も偽善もありません。」

クリスチャン、特に教える人にとって「上からの知恵」を実践する事は、神が統べ治めておられることを覚えていつでも反応する準備が出来ていることであり、他の人に「手を差し伸べ」、他の人を「優先し」、他の人に「従い」、他の人に「憐れみを持ち」、「神の御言葉」に従う事に集中していることなのです。

だから私の友人が遅れてきた時に私がしなしなければならないことはそれだったのです。怒る代わりに私は上を見上げる必要がありました。覚えておいて下さい。神はいつも統べ治めておられます。私は罪深く、価せず、力がない者ですが、神が全てをコントロールしておられます。そして目の前にある状況に神に従うことによって反応しましょう。彼に手を差し伸べ、彼を優先し、彼に憐れみを持つこと。それが「上からの知恵」です。

ヤコブは言います。「義の実は、平和をもたらす人たちによって平和のうちに蒔かれます。」私たちが平和な態度と思いで反応することによって他の人の内に義の実を蒔いているのです。

同じように、私達の伴侶、子供、両親が私達の期待を裏切る時、私達の友達、同僚が私達の期待を裏切る時、他のクリスチャンが私たちの期待を裏切る時、怒る代わりに上を見上げて下さい。覚えていて下さい。

神はいつも統べ治めておられます。私達は罪深く、価せず、力がない者ですが、神が全てをコントロールしておられます。神に従うことによって状況に反応しましょう。それは相手に手を差し伸べ、相手を優先し、相手に憐れみを持つことです。そして私たちの平和的な反応を通して相手の人生は変えられるのです。

「上からの知恵」はそのようなものです。まだあなたがあなたの主、そして救い主としてイエスを受け入れていないなら今日そうして下さい。そして自分が変えられ、周りの人も変えられるために「上からの知恵」を受け取って下さい。今日神様に変えてもらいましょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

奉仕者募集中！

1．週末礼拝メッセージ翻訳者
1か月半に1度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語を日本語へ翻訳します。

2．日本語字幕オペレーター
月 1 回～各礼拝の時間（特に 3 時、5 時の礼拝募集）の字幕のページをめくる奉仕です。英語を聞いて日本語がどの翻訳部分かわかる程度の英語力が必要です。操作は矢印キーを押すだけの簡単なものです。

3．日本語字幕作成/オペレーター
月 1 回～土曜日 16 時～
プロプレゼンターというソフトで翻訳された原稿を字幕に落とします。操作は簡単で1回のトレーニングで作成できるようになります。作成に1時間くらいかかります。その後 19 時からの字幕オペレーターもお願いします。

4．日本語レイアウト&印刷（女性募集）
月 1 回～土曜日 16 時～
TBC に来て作業します。この今見ている紙を作成してもらう作業です。ひな形に翻訳された原稿を入れて、読みやすくレイアウトし、印刷してもらいます。MS WORD が使える女性を募集しています。英語力不要

連絡先（ひろみ）：
hiromik@tokyobaptist.org

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg4922jp

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu